

いわて高等教育コンソーシアム  
大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業シンポジウム

# 東日本大震災の検証と 来るべき震災の備えへの提言

## —資料保存と救済のあり方から

### 【日程】

- 第1部／平成25年3月16日(土) 13:00～17:50
- 第2部／3月17日(日) 9:30～12:30
- 第3部／3月17日(日) 13:30～16:10

### 【場所】

ホテルルイズ「万葉の間」  
(盛岡駅前通 TEL 019-625-2611 / FAX 019-625-2673)

### 【募集人員】

150名程度

### 【主催】

いわて高等教育コンソーシアム

問い合わせ先  
盛岡大学総務部  
〒020-0183 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込 808  
TEL 019-688-5555 (代表) FAX 019-688-5577  
E-mail soumu@morioka-u.ac.jp  
HP <http://www.morioka-u.ac.jp/>

### 【概要】

東日本大震災から2年が経過しようとしています。被災地では未曾有の大震災から日常を取り戻すべく日々力を尽くし、そして日本各地から復旧復興に向けたさまざまな支援の手が差し伸べられています。

本シンポジウムでは、岩手県内にある高等教育機関の立場から震災後に行われたさまざまな救援活動を検証して、今後起こりうる同様の震災によって失われる可能性がある資料を保存・救済するシステムを恒常的に構築するための提言を行おうとするものです。

第1部は、震災が起きた時の救援活動を行うスキームを構築するために、東日本大震災で展開した活動を、「組織の連携」という観点から検証します。

第2部では、岩手県には、県を始め公共団体の公文書館が存在せず、公文書の保存の観点から見て組織的な動きが乏しいのが実情です。東日本大震災における公文書レスキューの議論と、公文書保存の意義を認めて組織を運営している立場からの報告を元にその必要性を検証します。

第3部では、震災に際しての図書館と司書を養成する高等教育機関の役割を検証します。